



「志五中だより」

～響き合う学びのエリア 志五中・舟渡小ブロック～

【教育目標】・自ら考え行動し 進んで学ぶ人
・思いやりの心を持ち 社会に貢献できる人
・豊かな情操と体力を育み 心身友に健康な人

令和7年度 第1号
令和7年4月21日発行
板橋区立志村第五中学校
校長 溝口 千里

志五中教師がめざす授業スタイル

新年度もあっという間に3週間が経ち、気がつけば、ゴールデンウィークもすぐそこです！

生徒たちも、新しい環境に少しずつ慣れてきた頃ではないでしょうか。中には人見知りで、なかなか慣れるのに時間がかかっている生徒もいるかもしれません。

最近、「2度見知り」という言葉を耳にしました。初対面ではそれなりに話せるのに、関係を深めるのが苦手な人のことです。2回目以降の会話では、相手の生活や気持ちに触れたり、自分のことを話したりといった「内面」に踏み込むやりとりが増えるため、難しさを感じるのでしょうか。

また逆に、初対面のときはお互いに気を遣って会話していたのに、少し慣れてきたことで踏み込んだ話題を出し、相手との距離感にズレが生じて関係がぎくしゃくしてしまうこともあるようです。

「2度見知り」を克服する方法をご紹介したいところですが、ここではあえて説明を省くという“現代的な授業スタイル”を採用してみたいと思います。調べたいとき、私はつい検索してしまいましたが、以前は検索エンジンやWikipediaが主流でした。最近では、AIの活用も当たり前になってきています。

「志五中教師がめざす授業スタイル2025」を策定しました！これまでのように、教師が説明し、生徒がそれを聞くという授業スタイルから一歩進み、生徒の活動を中心とした授業への転換をめざします。あえて説明を省

略し、生徒に「どこを見ればわかるか」という“学び方のヒント”を与えることで、自ら学習に取り組めるようにしていきます。

最終的には、生徒自身が学習の課題を設定し、自ら調べ、友達と学びを共有・比較しながら、対話を通じて理解を深め、主体的・自律的に学べる力を育てていきたいと考えています。

「志五中教師がめざす授業スタイル2025」

1. 始業時 — ㊟ 授業開始前の準備—
△ 始業チャイム前に入室し、準備を完了させる
▶ スムーズに授業を開始する
2. 導入 — 🗨️ わかりやすい授業の始まり—
👁️ 生徒の顔を見ながら説明する
🗨️ 「対話」を積極的に取り入れる
✍️ 簡潔で効率的な導入を心がける
⌚ 本題に集中し、時間を有効活用する
3. 生徒の活動 — 🧑 生徒主体の学びを促進—
⏰ 活動の時間を十分に確保する
📋 活動の内容と進行を明確に指示する
💬 生徒の思考時間を尊重する
👁️ 全員が活動に取り掛かっているか確認する
🗨️ 生徒の状況に応じた適切な声掛けをする
🎯 行動目標を明確に伝える
4. 振り返り — 📊 授業の締めくくり—
🕒 必ず振り返りの時間を設ける
👁️ 記入中の生徒の様子をよく観察する
📄 振り返りをデジタル化し、学習の記録を残す
△ 終業チャイムを厳守する

参考までに、前述の「人見知り」や「2度見知り」、「慣れによる失敗」に対する私なりの答えは、「笑顔」です。これは、AIで検索した答えではありませんので、あしからず。

本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。